

# 平成22年度 理科支援員配置事業

－その取り組みと成果・課題－

高山賢吉

平成19年度に始まった理科支援員等配置事業は、実施要項、要領等の基本的な制度設計を図りながら、理科支援員と特別講師の効果的な配置に併せて具体的支援内容の研究に取り組んできた。

平成22年度からは理科支援員のみでの配置とし、特別講師の配置については廃止とした。未配置校を優先させながら14教育局管内全ての小学校に理科支援員を配置した（計画196学級）。

【キーワード】理科支援員 SCOT事業 北海道

## はじめに

今年度はSCOT事業4年目を迎え、4月1日にJSTとの委託契約を締結した。しかしながら、行政刷新会議の「事業仕分け」により今年度からは理科支援員のみでの配置とし、特別講師の配置については廃止となった。事業規模は大幅に縮小しながらも、未配置校を優先させながら14教育局管内全ての小学校に理科支援員を配置した。

理科人材コンソーシアム会議も委員の減員を図るとともに、各地で人材を発掘しながら、配置を希望する未配置校を優先させながら市町村立小学校に理科支援員を配置した。

## 1 この1年のSCOT事業の歩み

- 4月1日 JSTと委託契約  
支援員募集要項作成
- 4月22日 理科人材コンソーシアム会議開催
- 5月1日 理科支援員配置開始
- 6月26日 理科支援員養成研修会
- 7月15日 理科支援員配置事業連絡協議会
- 8月12日 理科支援員実技研修会
- 1月25日 理科支援員配置事業説明会
- 2月28日 配置事業終了

## 2 理科人材コンソーシアム会議の開催

理科人材コンソーシアム会議には理科教育の関係者として、以下の委員が委嘱された。

田中 實	北海道教育大学札幌校教授
境 智洋	北海道教育大学釧路校准教授
和田恵治	北海道教育大学旭川校教授
松浦俊彦	北海道教育大学函館校准教授
大野栄三	北海道大学教育学部教授
山居賢一	札幌市立太平南小学校長
	北海道小学校理科学研究会顧問
下田浩氏	北海道経済産業局地域経済部 産業人材政策課課長補佐
澁谷恵補	北海道教育庁学校教育局 義務教育課地域支援グループ主幹
高山賢吉	北海道立教育研究所附属 理科教育センターSCOT事務局
三木勝仁	北海道立教育研究所附属 理科教育センター研究研修主事

## 3 理科支援員研修

### (1) 養成研修（15名参加）

- 6月26日(土) 理科支援員養成研修会（札幌）  
内容・事業の説明 ・理科支援員の服務  
・基礎的な実験スキルの習得

### (2) 実技研修（24名参加）

- 8月12日(木) 附属理科教育センター  
内容・気体検知管の使い方・試薬の調製  
・電流計等の測定機器の使用法  
・顕微鏡の扱い方、昆虫標本の作り方  
・岩石や鉱物の見分け方、野外活動

#### 4 理科支援員配置実績

- (1) 配置小学校数 71校 (計195学級)  
 (2) 理科支援員 73人 (内複数校配置8人)  
     大学生 37人 (男26人 女11人)  
     退職教員 31人 (男23人 女 8人)  
     地域人材 5人 (男 1人 女 4人)  
 (3) 配置小学校一覧

■石狩管内	
[北広島市]	西の里小, 東部小, 大曲小, 緑陽小 大曲東小
[恵庭市]	若草小, 恵庭小
[江別市]	東野幌小, 北光小, いずみ野小
[石狩市]	花川小, 生振小, 双葉小, 聚富小 厚田小
[千歳市]	桜木小, 日の出小, 東小, 末広小 緑小
[当別町]	西当別小, 当別小, 弁華別小
■渡島管内	
[森 町]	森小
[函館市]	弥生小, 港小, 上湯川小
[北斗市]	萩野小
[八雲町]	大関小, 泊川小
[七飯町]	大沼小, 藤城小
■檜山管内	
[上ノ国町]	上ノ国小
■後志管内	
[小樽市]	桂岡小
[寿都町]	寿都小, 潮路小
■空知管内	
[岩見沢市]	メープル小, 美流渡小
[美唄市]	東小
[三笠市]	幾春別小
[由仁町]	三川小
■上川管内	
[旭川市]	東栄小, 近文第二小, 緑新小
[東川町]	東川第一小小,
■留萌管内	
[留萌市]	東光小
■宗谷管内	
[稚内市]	下勇知小
■網走管内	
[湧別町]	芭露小, 中湧別小
[遠軽町]	安国小
[雄武町]	共栄小
[北見市]	上仁頃小, 豊地小
■胆振管内	
[室蘭市]	桜が丘小, 旭ヶ丘小, 高平小 本輪西小

[苫小牧市]	美園小, 北星小, 苫小牧西小
■日高管内	
[平取町]	貫気別小
■十勝管内	
[新得町]	新得小
[帯広市]	西小, 関西小
■釧路管内	
[釧路市]	光陽小, 共栄小
[白糠町]	庶路小
■根室管内	
[別海町]	上西春別小
[羅臼町]	羅臼小, 春松小
[中標津町]	丸山小

#### 5 SCOT通信による情報の共有

理科支援員の具体的な支援内容や活動状況を「SCOT通信」の形でデータベース化し、市町村教育委員会や学校に情報を提供する。  
 (No. 103~114の発行)

#### 6 SCOT事業の目的と背景

SCOT事業は、有用な外部人材を理科支援員として理科の授業に配置し活用することで、「理科の授業における観察・実験活動の充実及び教員の資質向上を図ること」を目的としている。このことは、小学校教員が多忙で実験の準備などが困難なことから、理科を苦手とする教員が多いことが背景にある。

#### おわりに

SCOT事業には、このような実態を背景に、次の課題が残されていると考えられる。

- (1) 小学校には、理科の観察・実験を支援する恒常的な職制が必要であり、地域で理科をサポートする人材ネットワークの構築が望まれる。
- (2) 小学校教員の理科実験に関する力量形成には、背景となる科学の体系の修得が不可欠であるが、それを解決する鍵は理科支援員の支援内容の中にあると思われる。支援員が実践した具体的な支援事例を全領域にわたって網羅することにより、将来教職を目指す学生の支援員としての資質向上はもとより、現職教員の資質向上も図ることができると考えられる。

(たかやま けんきち SCOT事務局コーディネーター)